

レースにあたっての審判上の諸注意

今大会は、日本ローイング協会競漕規則及び大会要項に基づいてレース運営しますが、特に以下のことに注意してレースに臨んでください。

1. 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、熱中症の対策を怠らないよう水分補給を十分に行ってください。出艇後でも体調が悪くなった場合は、最寄りの審判員やその他の役員に申し出てください。

2. 事故防止と安全確保について

- ① 各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全確保に努め、安全第一で行動してください。安全について、各クルーが自主的に対策を施してください。
- ② 出艇時には、必ず航行ルールを確認し、レースの状況を注視するなど、安全には十分に注意してください。
- ③ レース前の練習は、練習水域にて航行ルールを守り、周囲の安全を確認のうえ行ってください。決められた水域以外には行かないこと。風や波、急な天気の変化にも注意し、大会本部等から指示があれば、これに従ってください。
- ④ 回漕中(栈橋から練習・発艇水域へ向かうとき)、レース艇の100m手前で停止し、レース艇が通過するのを待ってください。これに違反するとイエローカードを与えます。
- ⑤ レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中止することがあります。クルーの安全を第一に考えたレース運営を行うことを理解しておいてください。

3. 各種手続き(届け出)について

- ① 棄権・メンバー変更・ブレード変更の手続き(届け出)は、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手順で行ってください。
- ② シート変更(漕手間の変更)については事前の届出は、必要ありません。

4. 監視と舵手計量について

- ① 舵手の計量は、毎日、出漕する最初のレースの2時間前から1時間前に監視所(舵手計量所)で行います。
- ② 毎日の舵手計量を規定の時間内に行わない場合は失格となります。時間を厳守してください。なお、この件に関する呼び出し放送は行わないため、各クルーで十分に注意してください。

5. ユニフォームの統一について

- ① 各クルーは、ユニフォームを統一すること。アンダーシャツ・タイツ・靴下等も統一してください。とくに色あせ、迷彩模様・幾何学模様等の服装は注意してください。
- ② 帽子・はちまきについてはクルー内で着用するものとしなくても可とします。ただし、着用する選手については、必ず統一したものを着用してください。

6. コースへの進入について

発艇員は、前のレースが100m付近を通過し、スタートエリアの安全が確認されたのち、次のレースのクルーを待機水域からコースへ呼び込みます。その呼び込みを受けてから、指示されたレーンに速やかに進入してください。

7. 発艇定刻の厳守と発艇について

- ① 出漕クルーは発艇定刻2分前までに所定の発艇位置(ステッキボート)に着けなければなりません。特段の事情がない限り、これに遅れた場合はイエローカードを与えます。艇の故障等で発艇時刻に間に合わない場合は、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けてください。許可なく遅れ、レースに参加できなかったクルーはDNSとなり、以後の全ラウンドに出漕できません。
- ② 発艇定刻2分前になったとき、各クルーはいつでも発艇できるよう準備し、各クルーの責任で進行方向を定めてください。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合があります。

8. レース中の注意について

- ① スタート直後を含め、レース中での艇の故障およびオールの破損等について特別な措置はありません。故障や不具合が生じないように、十分に点検しておいてください。
- ② すべてのクルーは自己のレーンを進行し、他のレーンへの侵害、もしくは他艇の妨害をしてはなりません。自己のレーンを外れて、回漕レーンあるいはさらに外の航行を妨げる物その他に衝突する危険が切迫している場合、レース状況によっては白旗を掲げ、「〇〇止まれ！」等のコールをし、当該クルーのみ競漕を一時中止させることがあります。この場合、主審が危険が回避されたと判断したら、当該クルーがレースに復帰することを許可します。
- ③ 主審艇はレース状況により、遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることもありますが、容赦してください。

9. レース中の選手の落水について

- ① 漕手がレース中に落水した場合、速やかに自力で乗艇し、フィニッシュラインに到達すれば着順を認めます。ただし、自力での乗艇に手間取り、次のレースに支障をきたす、もしくは安全上の問題があると審判員が判断した場合には救助を行います。この場合はDNFとなりますが、安全が第一であるため了解してください。
- ② 艇が転覆した場合、漕手が艇から速やかに離脱できる形式でなければなりません。シューズは片手の一動作で靴が脱げるような仕組みであり、ヒールローブを使用する場合は踵が水平以上にならないようしっかり結んでおくこと。フットストレッチャーが艇に残らない構造のすぐに離脱できるシューズは、適切に装着しておくこと。これに違反した場合、失格までの罰則が与えられます。

10. 指導・警告・除外とその取扱いについて

- ① クルーが違反・不正行為等を行った場合、指導や警告（注意・イエローカード・レッドカード）を与えます。同一ラウンド内（レース前の回漕および練習中を含む）でイエローカードを2回与えられるとレッドカードとなり、レッドカードを与えられると除外となります。イエローカード・レッドカードが与えられるときは、審判より該当色のカードが提示されます。
- ② 大会期間中の航行ルールを守らなかった場合（やむをえない状況を除く）、イエローカードを与えます。また、あらかじめ定められていない事柄でも、審判が対象と判断した場合、イエローカードやレッドカードを与えることがあります。
- ③ 与えられたイエローカードはレース成立で効力を失いますが、その後の回漕中にイエローカードを与えられた場合、次レースがあるときには、そのイエローカードは持ち越すものとします。
- ④ 予選において、スタート前やスタート直後およびレース中にレッドカードを与えられ除外となったクルーは、敗者復活戦への出場を認めます。この場合、他クルーとの公平を期すため、予選レースで全距離を漕了させます。なお、この際にまじめな態度および正常な競漕速度で漕了しない場合、接触・妨害をおこした場合は失格とします。

11. レース終了後について

- ① クルーがフィニッシュラインに到達した際には、判定によりブザー音にてクルーに知らせることを原則としますが、機器の不具合その他の理由により、ブザー音が正常に鳴らないことがありうるので、自らがフィニッシュラインを確認して漕了してください。
- ② フィニッシュラインを通過後は、主審が白旗を掲げてレースが成立するまで付近で待機してください。なお、主審は、フィニッシュラインの手前で旗を掲げる場合もあるため、しっかりと注視してください。
- ③ レースに対する異議がある場合は、主審が旗を掲げる前に挙手をして主審に申し出てください。
- ④ 主審から白旗があがった場合はレース終了を意味するので、そのまま帰艇棧橋に戻ってください。ただし、赤旗が揚がった場合は、レース中に何らかの問題があったことを示しているため、その場にとどまり、主審の指示を待つようにしてください。

1 2. 無線通信機器の使用について

艇内に許可データ（タイム、ストローク・レート、低速/加速度、心拍数）、を収集するための機器や装置（携帯電話等を含む無線通信機器）の持込は許可されますが、レース中（レース用の航行ルールが適用されている全時間帯）、電氣的または電子的な手段による、クルーと艇の外部とのいかなる方向の交信およびデータの送受信も許されません。使用した場合は失格となります。

1 3. その他

バウナンバーを必ず艇首に取り付けてください。発艇前にバウナンバーを落としたクルーは、最寄りの審判員に申し出てください。